

ほんわ館だより

令和7年11月発行
第158号

中山町立図書館
開館 10:00～19:00
休館日 11/4.10.17～21
11/25



11月の展示コーナー



- ★おすすめコーナー 『健幸～健やかで幸せな人生を～』 ★2階掲示板
★児童書コーナー 『教科書に載ってたお話』
・絵本コーナー 『きたかぜにまけないよ』『パパ、ママも読んだ!?』
・円形コーナー 『ひらいてみよう!』
・空中図書コーナー 『色の本』 ・小学生おすすめコーナー 『学習まんが』

※月のおはなし会★
★11月15日(土)★
11:00～11:30
ほんわ館多目的室
で行います



蔵書点検に伴う休館のお知らせ

11月17日(月)～11月21日(金)蔵書点検のため休館になります

期間中の本の返却は【返却ポスト】をご利用ください。ただし、下記の資料は開館時にカウンターへご返却をお願いいたします。

★DVD ★紙芝居 ★大型絵本 ★他の図書館から借りている本

ご迷惑・ご不便をおかけいたしますが
ご理解とご協力をお願いいたします



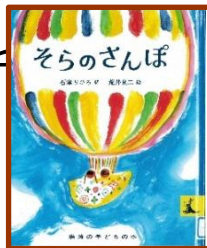
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

【児童書(えほん)】



◀『パンどろぼうと
スイーツおうじ』
柴田 ケイコ/作
KADOKAWA



◀『そらのさんぽ』
石津 ちひろ/詩
荒井 良二/絵
岩波書店



◀『まよなかの
おはなしかい』
ギデオン・ステラー/ぶん
チャールズ・サントソ/え ひ
さやまたいち/やく
評論社

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
スワイプ厳禁	知念 実希人/著	パズルで名探偵	杉山 亮/著
どら蔵	朝井 まかて/著	ひみつのとつくん	工藤 純子/作
イン・ザ・メガチャーチ	朝井 りょう/著	大谷翔平 夢にフルスイング	ジェームス・バックリー・ジュニア
いまだ悪戦苦闘中	垣谷 美雨/著	おばけとしょかん 3	斉藤 洋/著
ババヤガの夜	王谷 晶/著	トミカはたらく車大しゅうごう	
(大活字)九十九藤 上・下	西條 奈加/著	【教養書】書名	編著者名
蜻蛉の夏	垣根 涼介/著	笹餅おばあちゃんの手でつくる暮らし	桑田 ミサオ/著
職分	今野 敏/著	羽柴秀長	柴 裕之/著
あやかしたち	畠中 恵/著	すきまガーデニング	主婦の友社/編
総理にされた男 2	中山 七里/著	かんぼ生命びくびく日記	半沢 直助/著
山本周五郎岡場所の女たち	山本 風五郎/著	家庭菜園困ったときのQ&A	藤目 幸擴/著
池袋NO NAME	石田 衣良/著	八雲とセツを追いかけて	興田 亜紀子/著
ギリシャ語の時間	ハン・ガン/著	体力おばけへの道	澤木 一貴/著
中学生あらくれ日記	椎名 誠/著	子どもの「成長痛」解消マニュアル	内田 緒博/著



本の歳時記



ー 感性咲く秋ー

「～の秋」と聞いて、どんな言葉が思い浮かびますか？「読書の秋」「行楽の秋」「芸術の秋」など、枚挙にいとまがないほど、さまざまな言葉が浮かんできます。四季が巡る中でも、秋は実り豊かで心にもゆとりが生まれる季節。心動く時間を一冊の本から。



『美しき愚かものたちのタブロー』(原田 マハ//著 文藝春秋)

国立西洋美術館誕生までの激動の軌跡を描いた作品。二度の大戦の陰で、「日本の若者に本物を見せたい」という一心から、驚くほどエネルギーに行動し、モネやルノワールのタブロー（絵画）を収集した松方幸次郎。その想いを受け継ぎ、流転したコレクションを取り戻すために奔走した人々——美しき愚かものたちの群像劇が、史実に命を吹き込みます。アート鑑賞の楽しさと、人々の情熱とを教えてくれる一冊です。



『ラブカは静かに弓を持つ』(安壇 美緒//著 集英社)

音楽小説 × スパイもの という異色の組み合わせが光る一冊。主人公・橘は、著作権を管理する会社の社員。音楽教室に潜入し、演奏権の侵害を証明する証拠を掴むよう命じられます。少年時代のある事件をきっかけに心を閉ざしてきた橘でしたが、一度は諦めたチェロの演奏を通じて、音楽講師や生徒たちに次第に心を開いていきます。孤独なスパイが最後に選ぶのは、任務の遂行か、それとも音楽と人との温かなつながりか——。



『広重ぶるう』(梶 よう子//著 新潮社)

時は文政。歌川広重（本名：重右衛門）は、火消し同心として生計を立てる下級武士ながら絵師として大成しようともがく日々を送っていました。貧しい暮らしの中で広重を支えたのが、妻・加代。質屋通いをしながら家計を支え続けます。 そんな中 転機となったのは、舶来の顔料「ベロ藍」との出会い。この鮮やかな青を用いて、後世に広く知られる「東海道五拾三次」を描き、人気絵師となります。それでも広重は、「本当に描きたいものは何か」を自問し、苦悩を重ねていくのです——。

ほんわ館で読まれています

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ//著 日経BP日本経済新聞出版



「神がいないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいですよ」ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。

『そこに工場があるかぎり』

小川洋子//著 集英社



国内唯一の競技用ボート、ベビーカー、大人の色鉛筆…。日本の繊細でユニークなものづくりの愛おしさと本質、携わる人々の思いを伝える珠玉の工場見学エッセイ。

『烈風を斬れ』

砂原浩太郎//著 双葉社



関白・豊臣秀次の遺児・孫七郎は、「大坂の陣」前夜、大坂方の密使として、全国に散らばる牢人たちを仲間に引き入れる役目を受け…。戦国の烈風にさらされながらも、前を向き歩く若者たちの物語。

『認知症になる人ならない人』

山田 悠史//著 講談社



認知症になる人の生活習慣、認知症にならない人の暮らし方…。認知症の基礎知識から最新の研究や治療法、患者や家族が直面する課題と対策まで、幅広く解説します。